

2010年の正会員の研究業績

浅野 信博

●学会発表

「実証的監査理論の構築」伊豫田隆俊（甲南大学）、松本祥尚（関西大学）、林隆敏（関西学院大学）、町田祥弘（青山学院大学）、高田知美（神戸大学）との共同報告、日本監査研究学会全国大会、甲南大学、2010年10月30日。

石井 真一

●著書

“Comparative Evolution of Japanese-European joint ventures in Japan and Europe,” *Reshaping the Boundaries of the Firm in an Era of Global Interdependence: Progress in international business research vol. 5 (Proceedings of 35th Annual conference of European International Business Academy)*, Barber, J. P. and J. Alegre (Ed.), pp.57-73, Emerald, London. (2010年11月、J.-F. Hennart氏と共著)

●研究論文

“Foreign direct investment trends in international joint ventures between Japanese and European firms in Europe and Japan,” *Osaka City University Business Review*, No. 21, pp. 1-11. (2010年12月)

”Linking beyond lean: International new product development at Toyota Motor Europe,” *Conference proceedings of 36th Annual conference of European International Business Academy (CD-ROM)*, University of Porto, Porto, Portugal, 9-11th December 2010. (2010年12月)

”Joint venture entry and expansion of wholly owned subsidiaries in foreign market: Inter-organizational partnership of Toyota in North America,” *Conference proceedings of 36th Annual conference of European International Business Academy (CD-ROM)*, University of Porto, Porto, Portugal, 9-11th December 2010. (2010年12月、J.-F. Hennart氏と共著)

「日本企業の国内市場・日欧合弁におけるパートナーシップ行動」『桃山学院大学経済経営論集』第51巻第2号、2010年2月、121-160頁。

「海外市場・日欧合弁における日欧企業のパートナーシップ行動」『経営研究』第60巻第4号、2010年2月、131-150頁。(J.-F. Hennart氏と共著)

「グローバリゼーションと国際提携」『日本経営学会第 84 回大会—報告要旨集—』2010 年 9 月、30-38 頁。

●ワーキングペーパー

“International new product development: A case study of Toyota Motor Europe,” 発表用ワーキングペーパー、戦略・組織分析ワークショップ、於京都大学大学院経済学研究科、2010 年 11 月 26 日。

“What happens after initial joint venture entry?: The case of Toyota in the United States”, Working paper presented at 17th International conference of MOPAN (Multi-organizational partnerships, alliances and networks), Keele University, UK, 29th June 2010. (2010 年 6 月、J.-F. Hennart 氏と共著)

●学会発表等

”Linking beyond lean: International new product development at Toyota Motor Europe,” *36th Annual conference of European International Business Academy*, University of Porto, Porto, Portugal, 9-11th December 2010. (Poster session、2010 年 12 月)

”Joint venture entry and expansion of wholly owned subsidiaries in foreign market: Inter-organizational partnership of Toyota in North America,” *36th Annual conference of European International Business Academy*, University of Porto, Porto, Portugal, 9-11th December 2010. (Poster session、2010 年 12 月、J.-F. Hennart 氏と共同)

“What happens after initial joint venture entry?: The case of Toyota in the United States”, *17th International conference of MOPAN (Multi-organizational partnerships, alliances and networks)*, Keele University, UK, 29th June 2010. (J.-F. Hennart 氏と共同)

「グローバリゼーションと国際提携」日本経営学会第 84 回大会統一論題サブテーマ②「グローバリゼーションへの対応と課題」報告、於石巻専修大学、2010 年 9 月 4 日。

“International new product development: A case study of Toyota Motor Europe,” 戦略・組織分析ワークショップ、於京都大学大学院経済学研究科、2010 年 11 月 26 日。

●辞典の項目執筆

「異文化インターフェイス」「エスノセントリック (本国志向)」「オフショア生産」「開発

輸入」「関税同盟」「間接投資」「カンントリー・リスク」「逆エンジニアリング」「グローバル・コンピュータ・ネットワーク」「グローバル戦略」「グローバル・マーケティング・マネジメント」「クロス・カルチャー」「経営現地化政策」「研究開発の国際化」「現地調達」「国際交渉」「国際購買管理」「国際生産」「国際製品戦略」「国際分業」「国際マーケティング」「国際ロジスティックス」「三角貿易」「産業内貿易」「スピルオーバー効果」「折衷理論」「対外直接投資」「対外投資」「タックス・ヘブン」「ダンピング」「デット・サービス・レシオ」「内部化理論」「ノックダウン生産」「プラント輸出」「ヘクシャー＝オーリンの定理」「ボーダレス化」「ポリセントリック（現地志向）」「輸出マーケティング」「ライセンスング」「リージョナリズム」、吉田和夫・大橋昭一（監）、深山明・海道ノブチカ・廣瀬幹好（編）『最新基本経営学用語辞典』同文館出版、2010年3月。

●その他

Session Chair : “The more things change, the more they stay the same: Evolving trading company relationships in the globalized Japanese economy” (presenter: Tom Roehl), *The Mitsubishi Foundation International Conference (Exploring New Perspectives on Management)*, Session 9, International Productivity Center, Hayama, Kanagawa, Japan, 30th August 2010.

Discussant : “A theoretical assessment of the empirical literature on the impact of multinationality on performance” (presenter: Jean-François Hennart), *The Mitsubishi UFJ Foundation International Conference (Exploring New Perspectives on Management)*, Session 9, International Productivity Center, Hayama, Kanagawa, Japan, 29th August 2010.

石川 博行

●著書

『株価を動かす配当政策—コロボレーション効果の実証分析』中央経済社、2010年9月。

●研究論文

「割引計算の新たな会計アプローチ」『企業会計』第62巻第12号、2010年12月、38-45頁。

「利益変化と配当変化のコロボレーション効果—中間利益・中間配当・年次利益の相互作用—」『会計』第177巻第4号、2010年4月、64-74頁。

●書評

書評「増村紀子『日米会計基準の比較分析』中央経済社、2010年」『産業経理』
第70巻第3号、2010年10月、110-111頁。

●その他執筆

「連結財務諸表」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準（第5版）』白桃書房、2010年12月、141-147頁。

「関連会社への投資」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準（第5版）』白桃書房、2010年12月、148-152頁。

「1株当たり利益」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準（第5版）』白桃書房、2010年12月、167-176頁。

「日本企業の配当政策」『ビジネス・インサイト』第70号、2010年7月、18-19頁。

「DDMとRIMの実証的な優劣比較の有効性」桜井久勝編著、『企業価値評価の実証分析—モデルと会計情報の有用性検証』中央経済社、2010年6月、86-108頁。

「増配・減配の決定要因分析」桜井久勝編著『企業価値評価の実証分析—モデルと会計情報の有用性検証』中央経済社、2010年6月、360-380頁。

●報告書

「現在価値法における資本コスト」日本会計研究学会特別委員会、『公正価値測定の意義とその限界』中間報告書、2010年9月、119-141頁。

●学会報告・講演等

「株価を動かす配当政策」第27期グローバル財務戦略研究会第11回例会、日本出版クラブ会館、東京都、2010年11月17日。

「公正価値測定の意義とその限界（日本会計研究学会特別委員会中間報告）」（北村敬子氏等と共同）、日本会計研究学会第69回全国大会、東洋大学、東京都、2010年9月8日。

「利益と配当のコロボレーション効果に関する実証分析」日本ディスクロージャー研究会第1回全国大会、関西大学、吹田市、2010年5月8日。

太田 雅晴

●学会発表

“Innovation”（単）Proceedings for Asia Core Seminer in Hainan University, China,

January 4, 2010, Hainan University ,Hainan, China,4 January, 2010.

「日本情報経営学会は何をしていくべきなのか？」(単) 日本情報経営学会関西支部 209 回例会、大阪市立大学文化交流センター、大阪市、2010年4月24日。

“Innovation” (単) Proceedings for Asia Core Seminer in Nankai University, China, May 6, 2010, Nankai University , Tenjin, China, 6-7 May, 2010.

加藤 司

●論文

「チャンネル選択の多様化による消費者の食嗜好行動の変化—共分散構造分析によるモデル化—」(共著) 陶山計介・加藤司・後藤こず恵『浦上食品食文化振興財団報告書』2010年。

●講演

「日本における中小小売業の競争力強化のための提言—商人精神の視点から—」「中小商人学術大会」於:韓国高陽市 KINTEX、2010年11月24日。

狩俣 正雄

●論文

「障害者雇用施策とその課題」『経営研究』第61巻第1号、2010年5月、1-23頁。

「障害のある人のキャリア形成」『経営研究』第61巻第3号、2010年11月、25-47頁。

●学会発表

「経営倫理とスピリチュアル経営」経営倫理学会関西支部会、大阪府商工会館、大阪市、2010年10月4日。

「CSR と障害者雇用」日本・台湾経営倫理国際学術発表大会、中国文化大学、台北(台湾)、2010年11月1日。

川村 尚也

●学会発表

「グローバリゼーション時代の知識経営—実践コミュニティづくりのコミュニケーション」財団法人集団力学研究所第27回公開シンポジウム招待講演、福岡国際ホール、福岡市、2010年2月19日。

“Empowering Patients in the Communities of Healthcare Practices—A Knowledge

Management Model of Healthcare Organizations in the age of Patient 2.0—”
Co-author: Kazuko Hamai, The European Association for the Study of Science and
Technology (EASST) 2010, University of Trento, Trento, Italy, September 2-4,
2010.

“Improvement of IT Usability through Interactive and Reflective Practice between
Citizen Users and Public Officials” Co-authors: Hiroshi Togo, Koji Kanagawa,
Tadahiko Yoshida, 32nd European Group for Public Administration 2010.
Conference, The Toulouse Institute of Political Studies, Toulouse, France
September 8-10, 2010.

“How has modern food become faster?—Lessons from the transformation of Japanese
dietary culture in the 1960s and 1970s—” Co-authors: Chisako Takashima, Yusuke
Inoue, Tamaki Bitoh, Yujin Yamada, The 26th European Group for Organization
Studies Colloquium Universidade Nova de Lisboa, Lisbon, Portugal, July 1-3,
2010.

“Corporate museum as a vehicle for design management—Design management as a
methodology of intellectual property management for knowledge creation—”
Co-authors: Naoya Takayanagi, Maho Tanaka, The 26th European Group for
Organization Studies Colloquium Universidade Nova de Lisboa, Lisbon, Portugal,
July 1-3, 2010.

●その他

講演「分権時代の自治体経営 —自治体組織のナレッジ・マネジメント—」兵庫県自治研
修所市町職員第2部研修、兵庫県自治研修所、神戸市、2010年1月15日。

講演「グローバリゼーション時代の知識経営-個人の多様性を尊重した職場・組織づくり」
市民のための人権大学院じんけん SCHOLA 公開プレ講座 A「大阪が抱える人権問題
の今 2010」第2回、大学コンソーシアム大阪、大阪市、2010年10月1日。

小林 哲

●研究論文

「ブランド・アイデンティティのデザイン・マネジメント—SANYO エネループとエネ
ループ・ユニバース・プロダクト—」単著、『マーケティング・ジャーナル』29(3)、2010
年1月、102-117頁。

●学会発表

“Product Development with Value Design” co-authored with Akihiro Inoue, Sayaka Ishimaru, Takao Nagai, Nobuaki Nagamine, Akihiro Nishimoto, Satoru Shiratori and Haruo Umemoto, The 2010 INFORMS Marketing Science Conference MARITIM Hotels , Cologne, Germany, June 18, 2010.

●その他

「食文化資産の集積効果—B・1 グランプリを事例として」 単著、大阪市立大学都市問題研究プロジェクト平成 21(2009)年度報告書『都市観光を創造する、ファッション、食文化、アート&エンターテイメント、交通サービスの連鎖消費に関する基礎的研究—大阪を基軸にした国際比較研究—』大阪市立大学大学院経営学研究科、2010 年 3 月、34-53 頁。

下崎 千代子

●研究論文

「ワークライフバランス実現に向けた柔軟な働き方」単著、日本経営学会、経営学論集 78 集『企業経営の革新と 21 世紀社会』千倉書房、2008 年 9 月、60-72 頁。

●学会発表

「テレワークを活用したビジネスモデル—S 社と K 社の事例分析」日本情報経営学会第 61 回全国大会、熊本学園大学、熊本市、2010 年 11 月。

●その他

「私の考える論文の評価基準」、片岡・齊藤・佐々木・高橋・渡辺共編著『経営・商学系大学院生のための論文作成ガイドブック』改訂版、文眞堂、2010 年 10 月、207-208 頁。

第 7 章「産学連携・異分野連携を舞台にした心理学的アプローチによる社会人基礎能力の向上」comment、全国ビジネス系大学教育会議編著『社会人基礎力の育成とビジネス系大学教育』学文社、2010 年 12 月、100-102 頁。

高田 輝子

●学会発表

「金融市場における相転移の時空間構造の自動抽出と予測」情報処理学会（第 72 回）全国大会、東京大学本郷キャンパス、東京都文京区、2011 年 3 月 11 日。

“Phase classification by SVM,” Joint work with Takahiro Kitajima, 4th CSDA International Conference on Computational and Financial Econometrics (CFE'10), Senate House, University of London, UK, December 11, 2010.

高橋 信弘

●研究論文

「日本のソフトウェア産業の国際競争力に関する一考察 —国際競争力欠如の諸要因とその因果関係—」『経営研究』第 60 巻第 4 号、2010 年 2 月、151-167 頁。

●学会発表

“Restricted Development of SMEs in Japan's Software Industry: Reasons and Solutions,” ICSB (International Council for Small Business) 2010 World Conference, Hilton Cincinnati Netherland Plaza, Cincinnati, Ohio, USA, June 25, 2010.

田口 直樹

●論文

「中国における日系自動車産業と金型供給構造」単著、山崎修嗣編著『中国・日本の自動車産業サプライヤーシステム』法律文化社、2010 年 4 月、33-54 ページ。

●書評

書評「水野順子編『新興諸国の資本財需要—ロシアとベトナムの工作機械市場—』アジア経済研究所、2010 年」、『中小企業季報』2010 年第 3 号、2010 年 10 月、45-47 頁。

書評「伊藤大一「自動車部品サプライヤーにおける労働編成と請負労働者の抵抗—T 自動車グループ・アイズミテックの事例をもとに—」『大原社会問題研究所雑誌』第 621 号」、『中小企業季報』2010 年第 3 号、2010 年 10 月、39-40 頁。

●その他

研究ノート

「中国市場における日系自動車産業への金型供給構造」『経営研究』第 60 巻第 4 号、2010 年 2 月、233-248 頁。

対談

「日本の工業社会を支える金型産業の歴史(新連載・1)戦後復興期における金型産業の台頭」黒田彰一との共著、『型技術』第25巻第1号、2010年1月、79-83頁。

「日本の工業社会を支える金型産業の歴史(2)技術立国への歩みと金型産業」黒田彰一との共著、『型技術』第25巻第2号、2010年2月、54-58頁。

「日本の工業社会を支える金型産業の歴史(3)国際組織への発展」黒田彰一との共著、『型技術』第25巻第3号、2010年3月、72-76頁。

「日本の工業社会を支える金型産業の歴史(4)欧米金型産業の変遷と国内事情」黒田彰一との共著、『型技術』第25巻第4号、2010年4月、70-73頁。

「日本の工業社会を支える金型産業の歴史(最終回)金型産業と日本経済のこれから」黒田彰一との共著、『型技術』第25巻第5号、2010年5月、72-75頁。

田村 晃二

●研究論文

“The Unintended Consequence of Reciprocal Action in Marketing Competition — The Outbreak Circumstances of the HONDA-YAMAHA War—” (単著), *Osaka City University Business Review*, No. 21, November 2010, pp.13-43.

翟 林瑜

●研究論文

「コーポレート・ガバナンスにおける機関投資家の役割（下）—機関投資家と投資先企業の経営業績の関係の視点より—」『経営研究』第60巻第4号、2010年2月、113-130頁。

「投資家のディスポジション効果、短気と移り気（上）—中国の株式投資家に関する実証分析—」（閻石氏との共著）『証券経済研究』、2010年12月、155-165頁。

富澤 修身

●研究論文

「ファッション創造都市形成途上の上海」（単著）『経営研究』第61巻第3号、2010年11月、1-23頁。

「NYマンハッタンにおける衣服ファッション産業と小売業の130年史」（単著）都市問題研究代表・富澤修身編『大阪市立大学都市問題研究プロジェクト平成21年度報告書 都市観光を創造する、ファッション、食文化、アート&エンターテイメント、

交通サービスの連鎖消費に関する基礎的研究』（大阪市立大学大学院経営学研究科発行、2010年3月30日）、54-82ページ。

●学会発表

「NYマンハッタンにおける衣服・ファッション産業の130年史」（単独）経済地理学会関西支部6月例会（大阪市立大学文化交流センター、大阪市、2010年6月26日）。

●その他

都市問題研究代表・富澤修身編『大阪市立大学都市問題研究プロジェクト平成21年度報告書 都市観光を創造する、ファッション、食文化、アート&エンターテイメント、交通サービスの連鎖消費に関する基礎的研究』（大阪市立大学大学院経営学研究科発行、2010年3月30日）、1-151頁。

「特集 WIN 経営への提言 No.3 グローバル経済が進む中で競争力強化のためのビジネス・イノベーション」『年輪』（大阪中小企業投資育成株式会社発行）、Vol.138、2010年2月10日、2-6頁。

「講演 繊維産業のイノベーションとクリエイション」主催・日本紡績協会ほか（綿業会館、2010年12月8日）。

中瀬 哲史

●研究ノート

「経営史の哲学」『経営研究』第61巻第2号、2010年8月、105-118頁。

西村 弘

●研究論文

「地球環境問題と交通における自由 — 「将来世代への責務」はあるのか？—」『交通学研究/2009年研究年報』日本交通学会、2010年3月、19-28頁。

「21世紀の都市と交通—ソウルの都市戦略と都市交通」『大阪市立大学都市問題研究プロジェクト 平成21（2009）年度報告書』2010年3月、114-131頁。

「地球環境問題と物流：課題と展望」『経営研究』第61巻第2号、2010年8月、1-17頁。

●小論

「費用便益分析の使われ方」『高速道路と自動車』第53巻第6号、2010年6月、5-8頁。

「交通基本法への期待」『リベラ』第115号、2010年7月、2-3頁。

●報告

「費用便益分析の使われ方—道路国会後のマニュアル改定を中心に」
交通権学会、2010年7月18日（日本大学）。

藤井 輝明

●学会発表

「世帯所得と個人所得：被雇用者（労働者/勤労者/雇用者）世帯・個人の場合」経済統計
学会第54回全国大会、大分大学経済学部、大分市、2010年9月17日。

ト 志強

●その他

「日中管理会計の比較」グループ経営研究会、名古屋大学、2010年3月4日。

“Recent Trends in Cost Management Studies” Seminar on Cost Management Studies,
The School of Management, Shandong University, Jinan, China, May 4, 2010.

“Management Accounting Practices in Japanese Companies” Seminar on Management
Accounting in China and Japan, College of Management and Economics, Tianjin
University, Tianjin, China, September 10, 2010.

“Market Chain Management and Ameba Management” Open Seminar of Asia-Japan
Research Fellowship, The School of Management, Shandong University, Jinan,
China, September 16, 2010.

本多 哲夫

●学会発表

「大都市自治体の中小企業政策における行財政システム—大阪市を事例として—」日本地
方財政学会、青山学院大学、東京都渋谷区、2010年6月20日。

●その他

「きずなアンケート集計結果」大阪自治体労働組合総連合・大阪自治体問題研究所『くら
しと近所のきずな、まちのにぎわいアンケート 調査報告書』2010年12月、5-35頁。

「自治体工業政策の企画・推進体制の実態—アンケート調査結果の分析—」（三浦純一・田
野穂・藤本迪也との共著）『経営研究』第61巻第1号、2010年5月、115-130頁。

「1. 調査と分析の概要」工業集積研究会『地域産業政策に関する自治体アンケート調査

報告書』、2010年3月、1頁。

「2. 集計結果概要」工業集積研究会『地域産業政策に関する自治体アンケート調査報告書』、2010年3月、2-11頁。

「3. 人口規模類型別分析」工業集積研究会『地域産業政策に関する自治体アンケート調査報告書』、2010年3月、12-21頁。

宮川 壽夫

●論文

「粘着的配当政策の合理的背景とその実証」単著、『証券経済研究』第70号、2010年6月、105-122頁。

「日本における安定配当政策の意義と歴史的背景」単著、『資本市場』第297号、2010年5月、18-28頁。

「企業の経営能力と配当政策」単著、『経営研究』第61巻第1号、2010年5月、25-38頁。

●学会発表

「投資家のパワーと経営者裁量とのコンフリクト」日本会計研究学会、大阪市立大学、大阪市、2010年12月18日。

●その他

「安定配当と株主の利益」一橋大学伊藤彰敏教授との共著、『経済教室』日本経済新聞、2010年6月。

向山 敦夫

●論文

「環境・CSRと会計の連携 —環境・CSR会計と資産除去債務—」『会計・監査ジャーナル』第22巻第7号、2010年7月、145-151頁。

「CSR経営を支援する会計システム —付加価値会計とKPI—」『環境経営意思決定と会計システムに関する研究（日本会計研究学会特別委員会最終報告書）』2010年9月、255-269頁。